

目次

謝辞 3
 改訂・増補版に関する謝辞 3
 初版の訳者前書き 5
 日本語版に寄せる前書き 7
 はじめに 10
 改定・増補版の序文 13

第1部 序

事前解説 28
 子供向けマジック雑誌に書いたアドバイス 29
 「ケン」って、誰？ 31
 失礼ですが、下着が見えてますよ 43
 本書に書き込みをして下さい 46
 エンターテインメントを「科学する」だって？ そんなの無理 47
第1章 エンターテインメントを求めて 50
 エンターテインメントを定義する 50
 予想外なところで見つけたエンターテインメント 51
 なぜ演出家が必要なのか？ 55
 観客目線で自分を見よう：ビデオに撮ってみることの重要性 57
 師匠か信頼出来る友人を見つけよう 60
 レベル・アップを図ろう 61
 「ああ、なるほど！」と思った経験 64
 大きな声で言いましょう「私はエンターテインメントが提供出来れば
 本望だ！」と 67
 超有名人を見てみよう 68
 素晴らしいマジックが多すぎる 70
 敵 73
 成功に潜む落とし穴 75
 「エンターテインメントにまつわる印象深い思い出」について 77
 エンターテインメントにまつわる印象深い思い出
 アル・フロツツ…マイザーズ・ドリーム 78
 私のエンターテインメントにまつわる印象深い思い出 更新版 79

第2部 基礎事項

第2章 不思議に関するエンターテインメントの階層性 ……	84
本物の魔法 ……	86
「驚くべき瞬間」に迫る ……	87
「マジシャン向けマジック」対 「マジシャン以外の全ての方々向けマジック」……	89
マジックの平凡化 ……	92
第3章 色々なリアクション ……	96
三大リアクション ……	96
ステーキを売るな、ステーキを焼くときの音を売れ ……	99
気の抜ける音「シューシュー」vs. 肉を焼く音「ジュージュー」	102
第4章 エンターテインメントで成功を収める6つの鉄則 ……	104
1. 自分のネタをちゃんとマスターすること ……	105
ヒトとスーパーマン ……	108
少しでいいので、その全てをものすごく上手に演じよう ……	110
人のゆく裏に道あり花の山 ……	110
2. 自己的人柄を伝えること ……	112
品質保証 100% 天然由来 ……	122
なあ兄さん、あんたも、俺たちと同じ人間じゃないか? ……	126
観客は、皆さん自身を求めている ……	129
3. 自分の演技のどこがエキサイティングなのかしっかり捉える	130
4. あらゆる瞬間を支配すること ……	135
それから私は、えーっと、何というか、その人にこう言ったんで すよね ……	137
観客をもっと自分の方に引っ張りたければ、低速ギアを使え	138
観客には決して言い訳をしない ……	140
自分が全てを支配しているオーラを振りまくこと ……	142
こっちを見てくれていますか? ……	143
今、何ておっしゃいました? ……	144
私を引っ張って行って。そうしてもらいたいんです! ……	144
5. 弱点をなくすこと ……	145
スピードを抑えよう ……	149
リフレッシュのための沈黙 ……	150
マジックだけでは観客を満足させられない ……	151

6. クライマックスを目指して演技を組み立てること	152
空気に変化を持たせる	156
不可能性を高める	157
クライマックスがいくつも用意されている手順について	160
クライマックスまでが早い場合と遅い場合	161
本物のクライマックスは1度だけ、ということをお願いします	163
終わりよければ全てよし	163
エンターテインメントにまつわる印象深い思い出	
デビッド・バーグラス…ACAAAN	165

第3部 準備

第5章 台本の制作と稽古172

台本を紙の上を書く…とにかく書いてみる	172
書く。調整する。その繰り返し。	174
射撃手となって自らのコトバを放て	175
動作とセリフ	176
逆転の手法	178
動作	179
次のマジックでは、1組のカードを使いますが…	
あれ、どこにいったかな？	180
記憶するってありがたい	181
ああ、如何ともし難い、マジックの抱える因果	183
レンガの家を建てる	184

第6章 ネタ選びと演技の構築185

ビックリさせたいのか、ボンヤリさせたいのか	185
演技はネタに勝る	188
新しいネタと、古いネタ	189
私のネタと、あなたのネタ	190
原罪	193
目的は、驚かせること	194
強力に、もっと強力に、最大限強力に	195
いかにもマジックの道具、というモノはダメ！	197
タネの暴露は本当に理不尽？	197
観客の抱いた感情を後押しする	198

観客参加型の演技	200
警告 危険を伴うマジック…取り扱いは慎重に	202
4つの具体例での検討	203
具体例その1	203
具体例その2	206
具体例その3	209
具体例その4	211
素っ裸の状態を始めよう	214
芸術にするための芸術的要素？	215
飛行時間	217
コリンとクラウド	217
足元を見よう	219
エンターテインメントにまつわる印象深い思い出	
カード・マジックをするデル・レイ	221

第4部 パフォーマー

第7章 身だしなみ	224
成功するために衣装を選べ	224
手と爪	226
靴	226
眼鏡	227
ハンカチ	228
上着	229
シャツ	230
第8章 声について	231
声の出し方の秘訣、私のお気に入りのやり方	231
セリフの中で強調するところを別のところに変更する	238
白黒ではなく、色彩が感じられる声で	240
おめえ、セリフぐれえちゃ〜んとした発音で	
しゃべったらどうなんでえ	242
色々な声を聞く	244
第9章 言葉に関する技術	245
なくしてしまってもよい言葉や言い回し	246
文法の授業をもう1度	260

正直こそ最善の策	261
手をあげてもらふこと	263
一方で	264
見ればわかることをわざわざ言うな!	267
第 10 章 どうやって笑わせるか!	269
ユーモアに関する 2 つの攻め口	270
スパッと…核心を突こう	275
定番のジョークですが、男がバーに足を踏み入れました…	276
以下、ジョークを最小化して最大の効果を得ることについて。	276
ユーモアも気を遣って	278
自分の「持ち場」には責任をもとう	279
エンターテインメントにまつわる印象深い思い出	
マック・キング	281

第 5 部 道具立て

第 11 章 音響と照明	284
会場に一番乗りすれば照明が使いこなせる。	285
音響も使いこなせる。	285
宴会場	286
第 12 章 音響	288
音響システム	288
音響システムのテスト、「え～本日は晴天なり」	289
「手持ち式マイク」の美学	291
観客を大切にする、ということ	297
マイクを使うコツはコツコツ身につけて	297
マイク・スタンドか、マイク・ホルダーか?	298
プロはわかってる	299
実践家向きのマイク	299
マイクを使うか、使わないか?	300
スピーカー	302
スピーカーの話	304
モニター	306
第 13 章 音楽	308
音楽には力がある	310

音楽の使い方を間違えた事例	311
音楽の階層性	312
音楽は自由な発想で	314
コントローラーで制御、自分自身も制御！皆さんは観客の前に立っているのです！	315
ソーマの教え	320
適切な楽曲を探そう	321
アマチュアの音楽	321
使用料不要の音楽サイト	322
その他の重要なこと	322

第 14 章 照明.....324

スポットライト	325
「ホット・スポット」を見つけよう	326
音響・照明の件で：	327
自分の領地はシッカリ掌握しておけ…実例研究	327
解決策の検討	330
責任の所在	331
柔和でない人たちは、幸いである	331
エンターテインメントにまつわる印象深い思い出 デビッド・カッパーフィールド…フライング	334

第 6 部 パフォーマンス

第 15 章 クロスアップ・マジック.....338

お目にかかれて光栄ですか？	339
「またカードを引くの？」	340
「ちょっと奥様を拝借…おっと口が滑った。 時計を拝借出来ますか？」	341
「手を出してみてください…きれいな ^{ほう} 方の手、ですよ？」	343
演技を台無しにしないために、息なんて吹きかけるな	344
「そして、心がけるべきことは1つだけ…自然に振る舞うこと」	345

第 16 章 メンタリズム.....347

デビッド・ブレインに物申す	348
薄めてはダメ	349
タマリッツ、お前もか？	351

禁句集	355
せっかくの神秘を説明し倒す	359
なんで私の名刺をビリビリ破いちゃったの？	361
リアルに行こうぜ	361
ディスクレイマー	364
これに関連してもう一言	366
メンタル・マジック	367
これはなんでもありませんから	368
馬車より先に馬を連れてこい	369
第 17 章 サイレント・アクト	371
無駄な動き	372
ダンスの動きか。あるいは単に跳ね回っているだけなのか。	373
何を「言おうとしている」のか？	373
音楽を使う際に「やらかして」しまいがちなこと	374
ありきたりな選択	375
拍手のキッカケ	375
スピナ氏をがんばって探してください	376
第 18 章 観客への接し方	378
「どうぞ〜」と「ありがとうございます」	384
明瞭な指示	385
舞台上の観客と話す	385
傾聴	386
今、書いた通り、傾聴すること そして反応すること	387
観客に手を触れることについて	388
#MeToo 運動をあなたも	389
「1」は最も寂しい数字	390
観客を客席に戻す	391
色々な問題に備える	391
第 19 章 ショーの前に	393
わかりやすいライダー	393
観客を知る	394
誰の出番が一番か？	395
演技環境を整える	396
座席	398

舞台上がるための階段や踏み台	400
扉	400
メーカーキャップ	403
病的悪臭、など	408
紹介のされ方	409
紹介のされ方の紹介	411
でも、まずは会場に到着しなければ話になりません	415
見られるべきか見られぬべきか、それが問題だ。	417
舞台に出て行く直前に	418
第 20 章 ショーの最中	420
「出」の直後	420
オエ〜！ もう我慢出来ない	421
顔をこっちに向けてもらおう！	423
自分が見ているモノが観客に見えていますか？	424
自分が聞いているモノが観客に聞こえていますか？	424
臨機応変	426
退屈な時間をなくす	427
ミスディレクションをミスる	429
目を大きく閉じて	430
舞台から離れるときは要注意	431
言葉を屈ける、しっかり屈ける	432
「ありがとうございます」はやめる	433
道具は大切に扱う	434
こきたないキャリー・バッグ	434
生き物を乱暴に扱わないでね。ワンワン。	435
「MC ハマー」じゃなくて、「MC は待った」	435
一番素敵に見える角度から見てもらいましょう	437
サイン攻めにしない	438
次のネタに移る際の演技の切り替え方	441
結局のところ、それは誰のせいなのですか？	442
皆さん、これ、ご存じですよ？	444
善良な演者に災難が降りかかった場合	446
ヤバ、あいつクソだわ。最悪だ。	448
あなたが笑顔になれば、人々も笑顔になってくれる	449

重くなんかないわ、弟だもの	450
エンターテインメントにまつわる印象深い思い出	
ジル・イーグルス…「Q & A」アクト	451
特に印象深い思い出	452
「目隠し」を取る場面	452
第 21 章 ショーの終え方	455
最後の場面で舞台上に立っている人物	455
スタンディング・オベーション	458
第 7 部 補足	
第 22 章 ショーの後で	462
誤解の連鎖	462
事後検討	465
エンターテインメントにまつわる印象深い思い出	
ダレン・ブラウン	468
リオール・ソチャード	470
第 23 章 批評の仕方と批評の受け方	471
ノートの内容の伝え方	473
ノートの内容を覚えてもらうときの心構え	477
第 24 章 情熱と失敗	481
失敗を失敗として受け止めよう。ただし少しの間だけ。	481
情熱	482
第 25 章 そして、最後に	485
私たちにとっての名作は、どこにあるのか？	487
要約	489
訳者あとがき	495